

◆ 今週のコメント

- ・ カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(50歳代男性1例, 80歳代男性1例)(第12週追加分1例含む)あり, 本年の累積報告数は7例となっています。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり, 推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は12例となっています。近年, 梅毒の報告数は増加し続けており, 女性は20歳代の報告が多くなっています。梅毒の感染経路, 症状, 予防等については下記URLを御参照ください。
○梅毒に関するQ&A(厚生労働省ホームページ)
<http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html>
- ・ バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり, 症状は発熱です。本年初めての報告となっています。
- ・ 麻しん(検査診断例)の報告が1例(10歳代男性)あり, 症状は発熱, 結膜充血, 眼脂, コプリック斑です。推定感染地域は国外(インドネシア)で, 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年初めての報告となっています。下記URLで広報発表しています。有効な予防方法は麻しんワクチンを接種することです。麻しんは麻しんウイルスによっておこる感染症で, 症状は38℃以上の高熱, 咳, 鼻汁, 結膜の充血, 全身の発疹などです。感染力が非常に強く, 空気感染のほか, 飛沫感染や接触感染などさまざまな感染経路で広がります。疑わしい症状がある場合は, 必ず事前に医療機関に電話連絡し, 指示に従ったうえで受診してください。
○京都市内で麻しん(はしか)が発生しました。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000217489.html>

◆ 今週のトピックス: < Dengue熱 >

- ・ 京都市における Dengue熱の平成29年の報告は1例(10歳代女性)あり, 推定感染地域はマレーシアです。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 88例(肺結核 47例, その他結核 8例, 潜在性結核感染者 33例)うち喀痰塗抹陽性 20例】
- ・ 五類: カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例(第12週追加分1例含む)【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 12例】
- ・ 五類: バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 麻しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.48	240
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.95	250
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	25
	③ 手足口病	0.50	21
	④ 咽頭結膜熱	0.29	12
	④ 水痘	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

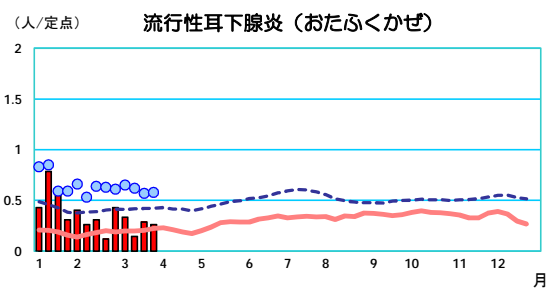
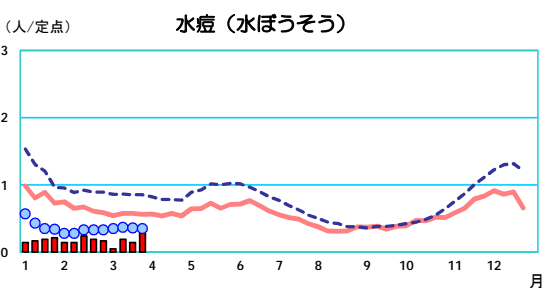
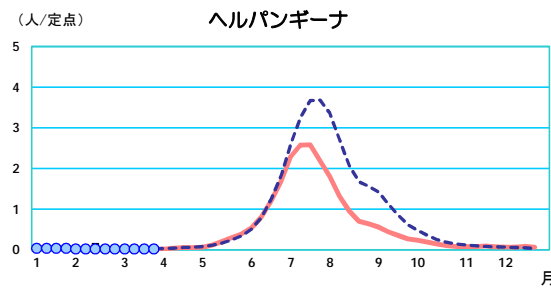
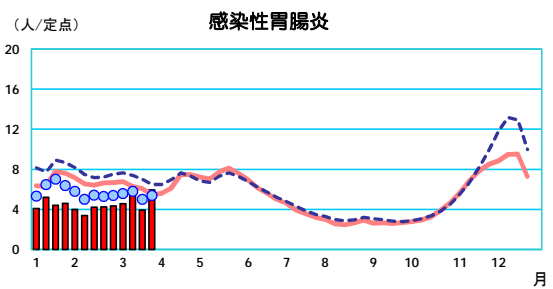
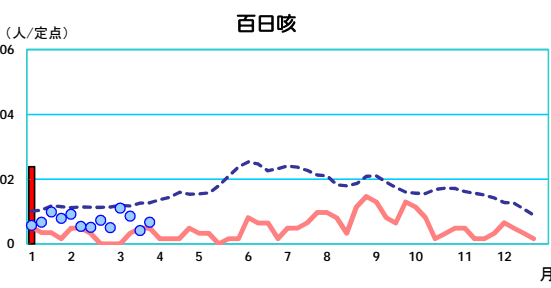
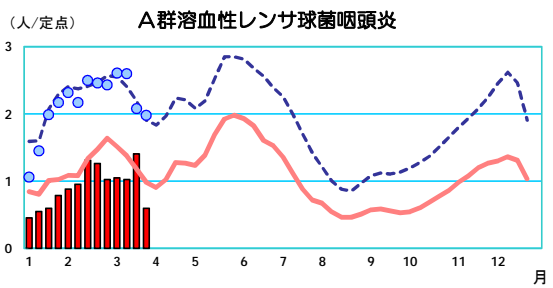
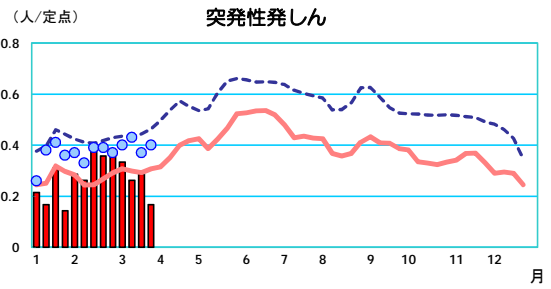
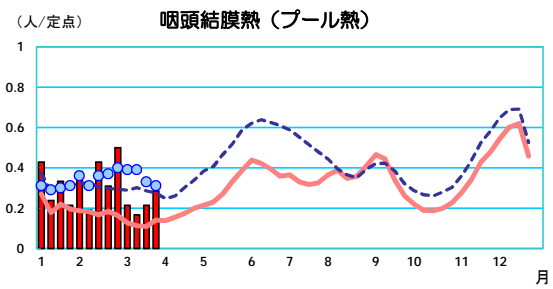
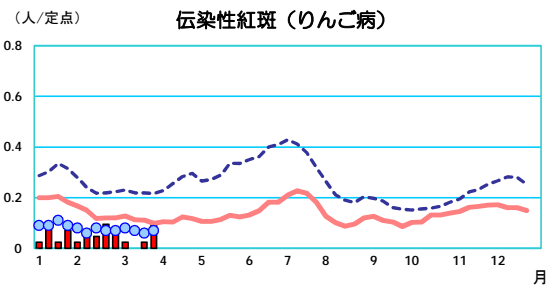
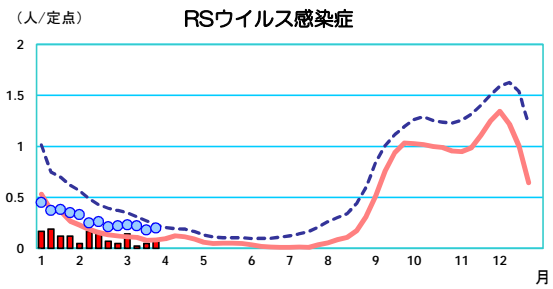
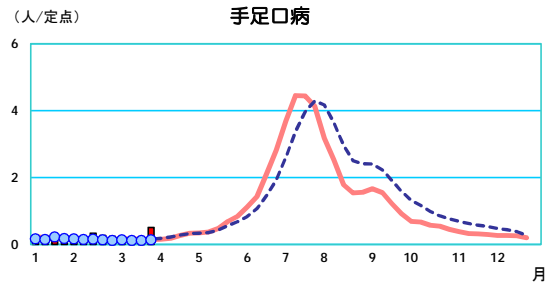
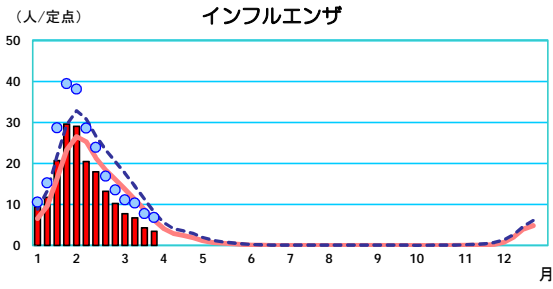
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: < Dengue熱 >

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年4月5日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第13週(3月27日～4月2日)トピックス: < Dengue熱 >

京都市及び全国の発生動向

京都市における Dengue熱の平成29年の報告は1例(10歳代女性)あり(表1), 推定感染地域はマレーシアです。平成23年～平成29年第13週の累積報告数は43例で(表1), 毎年患者が報告されています。年齢階級別にみると20～30歳代にピークが見られ(図1), 30歳代が15例(35%), 20歳代が14例(33%)です。推定感染地域はすべて国外で, 多い順にインドネシア, フィリピン, タイ, スリランカ, マレーシアとなっており(図2), ほとんどがアジア地域です。

全国においては毎年100例を超える報告が続いており(図3), 平成26年には約70年ぶりの国内発生例も報告されたことから, 今後の発生動向に注意が必要です。

症状

Dengue熱は, Dengueウイルスを持つ蚊(ネッタイシマカやヒトスジシマカ)に刺されることによって感染する疾患で, ヒトからヒトへの直接感染はありません。ウイルスには1型～4型までの4つの型があり, 感染しても発症しないケースも多くみられます。潜伏期間は2～14日(多くは3～7日)で, 突然の高熱で発症し, 頭痛, 眼窩痛, 筋肉痛, 関節痛, 発疹などを伴います。症状は通常, 1週間程度で回復しますが, まれに患者の一部に出血症状を発症することがあり, 早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。

予防

これからゴールデンウィークを迎えるにあたり, 多くの方が海外へ渡航することが予想されます。Dengue熱を含む蚊媒介感染症の予防には, 流行地域において蚊に刺されないような対策をとることが重要です。長袖シャツ, 長ズボンを着用し, 皮膚が露出しないように心掛けましょう。また, 蚊の忌避剤(虫よけスプレー等)の利用も効果があります。

表1 京都市の年次別報告数

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年*	累積報告数 (平成23～29年)
男性	2	3	6	4	8	2	0	25
女性	1	4	5	1	3	3	1	18
合計	3	7	11	5	11	5	1	43

*平成29年4月2日まで

図1 京都市の年齢階級別報告数(平成23年～平成29年)

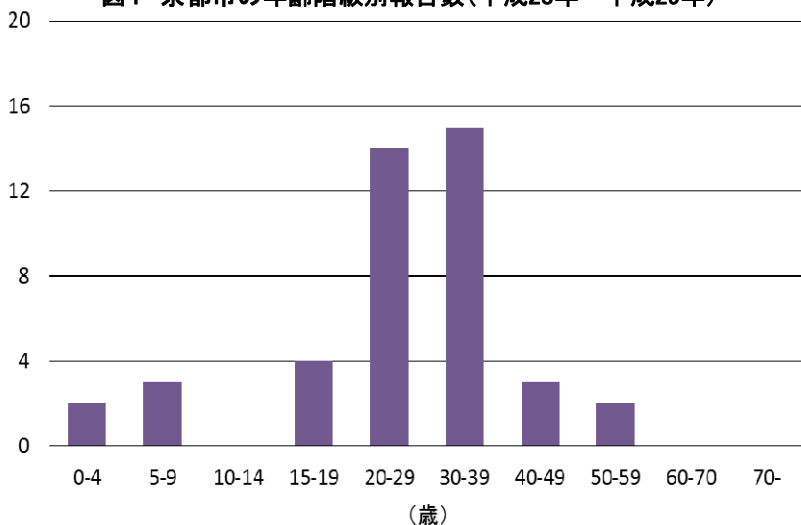


図2 推定感染地域別割合(平成23年～平成29年)

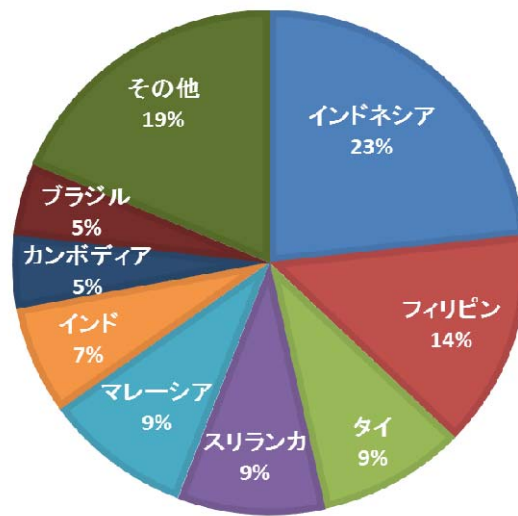
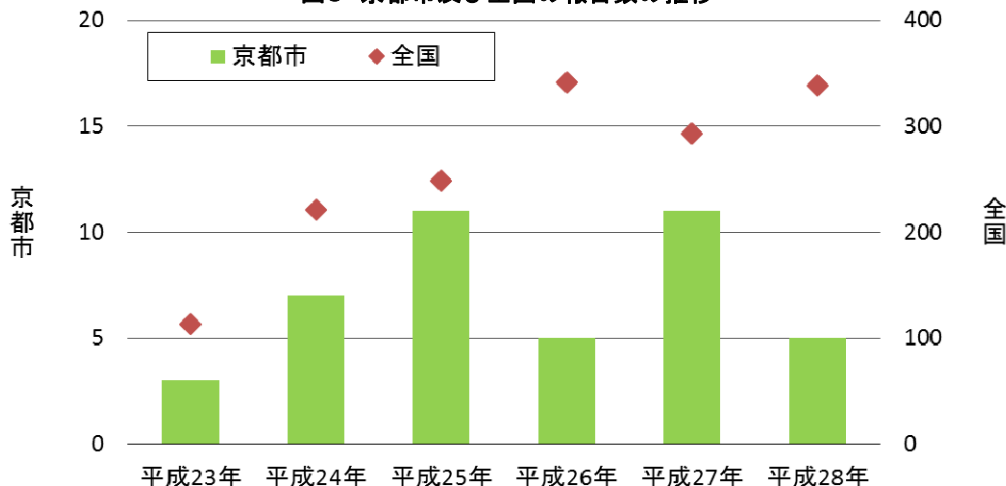


図3 京都市及び全国の報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第13週

疾病,行政区別報告数

平成29年3月27日～平成29年4月2日

データ入手日:平成29年4月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	25	-	1	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
上京	11	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
左京	35	-	-	4	39	-	-	1	-	-	-	3	-	-						
中京	15	-	-	-	11	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	12	2	-	-	21	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	35	-	-	-	5	2	1	-	-	-	-	1	-	3						
下京	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	16	-	-	-	23	1	5	-	-	-	-	-	-	-						
右京	42	-	5	9	45	4	5	-	4	-	1	4	-	-						
伏見	32	-	5	5	71	2	8	1	3	-	-	-	-	-						
西京	11	1	-	4	31	1	1	2	-	-	-	1	-	1						
京都市計	240	3	12	25	250	12	21	4	7	-	2	11	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	3.57	-	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-						
上京	2.20	-	0.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
左京	5.00	-	-	1.00	9.75	-	-	0.25	-	-	-	0.75	-	-						
中京	3.00	-	-	-	3.67	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4.00	1.00	-	-	10.50	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	5.00	-	-	-	1.25	0.50	0.25	-	-	-	-	0.25	-	3.00						
下京	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	3.20	-	-	-	7.67	0.33	1.67	-	-	-	-	-	-	-						
右京	5.25	-	1.00	1.80	9.00	0.80	1.00	-	0.80	-	0.20	0.80	-	-						
伏見	2.91	-	0.71	0.71	10.14	0.29	1.14	0.14	0.43	-	-	-	-	-						
西京	1.38	0.20	-	0.80	6.20	0.20	0.20	0.40	-	-	-	0.20	-	1.00						
京都市計	3.48	0.07	0.29	0.60	5.95	0.29	0.50	0.10	0.17	-	0.05	0.26	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年3月27日～平成29年4月2日

データ入手日:平成29年4月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	240	-	1	15	11	14	18	9	15	11	4	4	24	7	23	16	21	17	14	7	9	
RSウイルス感染症	年齢3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		12	-	-	3	1	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	-	-	-	3	2	5	1	5	2	1	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		250	-	15	48	38	31	17	18	7	11	6	6	21	5	27	-	-	-	-	-	-	-
水痘		12	1	1	2	2	1	-	2	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		21	-	4	8	4	2	1	1	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		11	-	-	-	1	2	2	-	-	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	5	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.48	-	0.01	0.22	0.16	0.20	0.26	0.13	0.22	0.16	0.06	0.06	0.35	0.10	0.33	0.23	0.30	0.25	0.20	0.10	0.13	
RSウイルス感染症	年齢3	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.29	-	-	0.07	0.02	0.02	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.60	-	-	-	0.07	0.05	0.12	0.02	0.12	0.05	0.02	0.02	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.95	-	0.36	1.14	0.90	0.74	0.40	0.43	0.17	0.26	0.14	0.14	0.50	0.12	0.64	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.29	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.50	-	0.10	0.19	0.10	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.17	0.02	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.26	-	-	-	0.02	0.05	0.05	-	-	0.05	0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.50	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年4月5日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		910	709	532	465	295	240
RSウイルス感染症		3	2	6	1	2	3
咽頭結膜熱		13	21	9	7	9	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		53	43	44	43	59	25
感染性胃腸炎		179	182	192	251	165	250
水痘		8	7	2	8	6	12
手足口病		11	10	5	3	7	21
伝染性紅斑		4	3	1	-	1	4
突発性発しん		15	16	14	11	12	7
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	3	-	3	-	2
流行性耳下腺炎		5	18	14	6	12	11
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	2	5	5	5	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		1,210	1,016	824	803	573	592

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		13.19	10.28	7.71	6.74	4.28	3.48
RSウイルス感染症		0.07	0.05	0.14	0.02	0.05	0.07
咽頭結膜熱		0.31	0.50	0.21	0.17	0.21	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.26	1.02	1.05	1.02	1.40	0.60
感染性胃腸炎		4.26	4.33	4.57	5.98	3.93	5.95
水痘		0.19	0.17	0.05	0.19	0.14	0.29
手足口病		0.26	0.24	0.12	0.07	0.17	0.50
伝染性紅斑		0.10	0.07	0.02	-	0.02	0.10
突発性発しん		0.36	0.38	0.33	0.26	0.29	0.17
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.10	0.07	-	0.07	-	0.05
流行性耳下腺炎		0.12	0.43	0.33	0.14	0.29	0.26
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.20	0.50	0.50	0.50	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		20.71	17.74	15.04	15.17	11.28	12.24

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。